

# 千葉県DX推進戦略に基づく令和7年度の主要事業（R7年度当初予算時点）

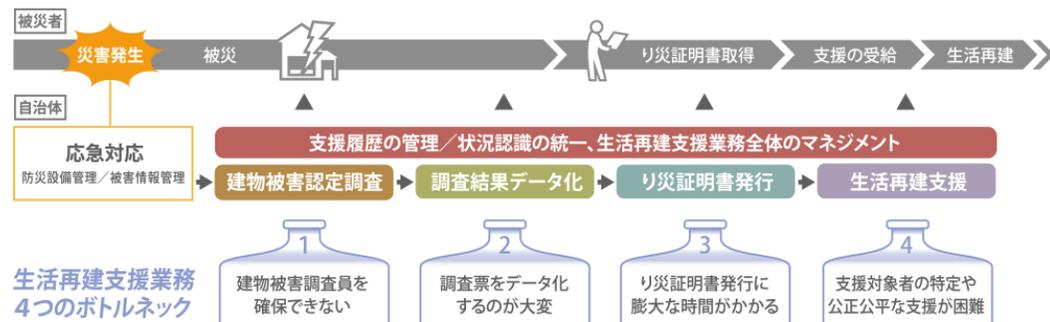
## 『暮らし』のDX

### 被災者支援システムの県・市町村共同導入【新規】

被災者の生活再建支援に欠かせない罹災証明書の発行に必要な建物被害認定調査にデジタル技術を活用することで、業務を迅速化・効率化させ、罹災証明書の早期発行を図ります。

また、個々の被災者の被災状況や支援状況、配慮事項等を一元的に管理できる被災者台帳のデジタル化を図ることで、更なる支援の効率化を可能とします。  
〔81,000千円〕

#### 〈被災者支援システム イメージ〉



## 『暮らし』のDX

### 高度なスマートフォンデータ抽出・解析ツールの活用【継続】

闇バイト・特殊詐欺などを中心とした社会的に関心の高い事案に対する捜査能力を強化、維持するため、高度なスマートフォンデータ抽出・解析ツールの導入整備を継続する。〔62,796千円〕

〈闇バイト・特殊詐欺 啓発ポスター〉



# 『暮らし』のDX

## 相談記録プラットフォームの運用実証【新規】

現在は紙ベースで運用されている福祉の相談から支援、情報共有までの一連の業務をデジタル化し、県・市町村等の関係機関が安全かつ確実に情報共有を行うため、千葉県が全国に先駆けて開発した「相談記録プラットフォーム」の運用実証を行います。〔300,000千円〕

〈相談記録プラットフォーム イメージ〉



# 『暮らし』のDX

## スペースパトロール(残土・再生土対策)【拡充】

残土等の不適正な埋立てによる崩落事故を防止するため、衛星画像を活用して盛土等で地形の改変の疑いのある個所を抽出し、速やかな是正措置につなげます。

これまで試行した地域に加え、令和7年度は全県で本格導入します。〔117,500千円〕



# 『仕事・生きがい』のDX

## 博物館資料のデジタル化事業【拡充】

博物館資料のグローバルな発信や県民の創造的活動への活用のため、館が収蔵している資料のデジタルアーカイブ化を行っています。特に令和7年度は、県立美術館において、本県ゆかりの作家である浅井忠関連資料等のデジタルアーカイブ化の拡充に取り組みます。  
〔9,000千円〕

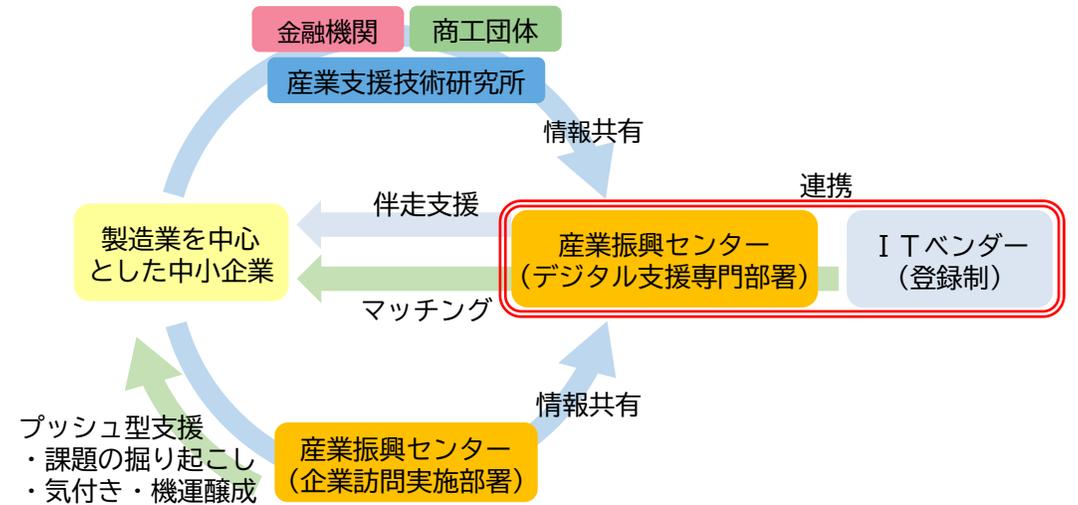
### <デジタルアーカイブイメージ>



# 『産業』のDX

## 中小企業デジタル技術活用支援事業【継続】

IoT・AI等の活用による県内中小企業の技術の高度化や生産性の向上を進めるため、人材育成のための研修等を行うとともに、県内中小企業等が連携して行うデジタル技術を活用した実証プロジェクトに対し助成します。さらに、支援機関やIT関連団体との連携体制を構築するとともに、中小企業等が抱える課題等の把握や解決に向けた伴走支援を実施します。〔115,600千円〕



## 『産業』のDX

### 農業事務所へのドローンの配備【新規】

農業事務所にドローンを導入し、農業水利施設や区画整理後の農地の点検・確認の安全性や効率性を向上させます。〔2,868千円〕

<ドローン撮影 イメージ>



<揚水機場の屋根点検 例>



<整備後水田 例>

## 『産業』のDX

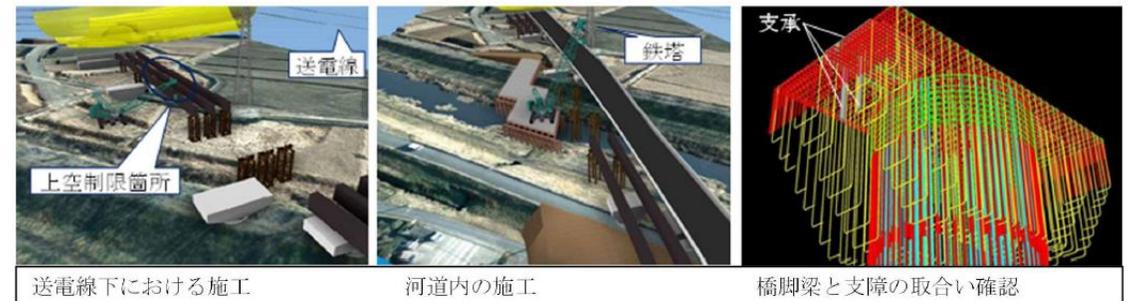
### BIM/CIMを活用した建設工事の拡大【拡充】

建設工事に係る関係者間の情報共有を容易にし、施工、維持管理などの効率化を図るため、道路整備等の県発注工事において設計段階から3次元モデルを導入しています。

令和7年度は銚子連絡道路、(国)356号香取小見川バイパスのほか、長生グリーンラインや(仮称)押切・湊橋等にも導入します。〔137,770千円〕

※ BIM/CIM:設計・施工・管理などの各段階において、3次元モデルを連携させ、関係者間で情報を共有すること。

<3次元モデルにより作成した設計成果等 イメージ>



送電線下における施工

河道内の施工

橋脚梁と支障の取合い確認

## 『行政』のDX

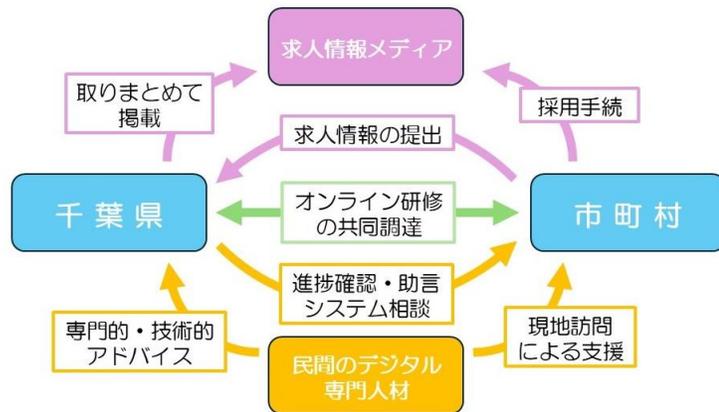
### 市町村デジタル推進支援事業【新規・拡充】

県内市町村がDXに着実に取り組めるよう、専門的・技術的な助言を行うとともに、市町村が求めるDX人材の確保、育成に対して支援を行います。

令和7年度からは県が求人情報メディアを活用し、市町村のDX人材確保を支援します。

また、デジタルスキル向上に資する研修について、市町村と共同調達します。〔47,200千円〕

<県による市町村支援の全体像>



## 『行政』のDX

### オフィス改革の推進【拡充】

ペーパーレス化の推進や、テレワークなどの多様な働き方の実現のため、令和6年度までの実証を踏まえて策定する「(仮称)千葉県オフィス改革基本方針」に基づき、オフィス改革を進めていきます。

〔87,000千円〕

<オフィス改革 イメージ>



<フリーアドレスの導入>



<集中ブースの設置>

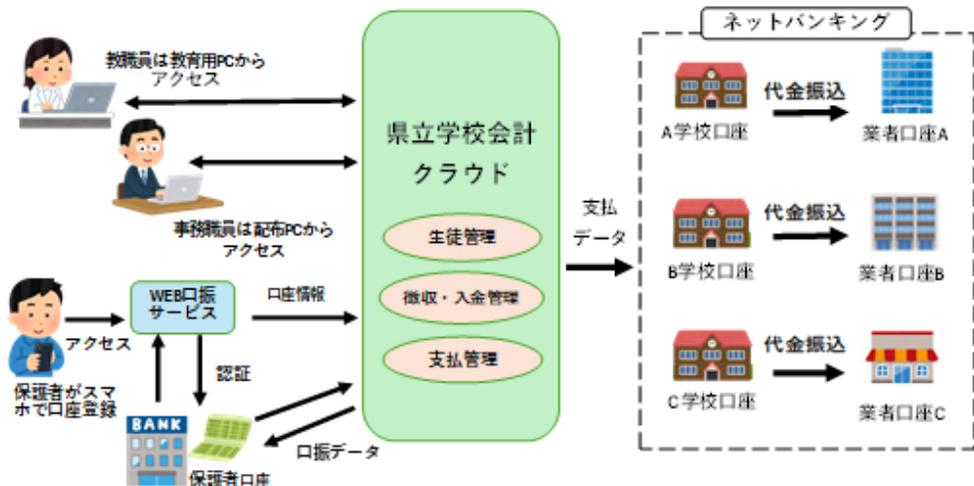
## 『行政』のDX

### 県立学校会計クラウドの導入【新規】

保護者の利便性向上や教職員の負担軽減のため、県立学校における学校徴収金等の会計について、「保護者の口座情報の登録」や「事業者への支払い」などの事務処理を一連のシステムで行う学校会計クラウドを導入し、キャッシュレス化・ペーパーレス化を図ります。

〔債務負担:98,000千円〕

<システムイメージ図>



## 『行政』のDX

### 奨学のための給付金における電子申請導入【新規】

保護者の利便性向上や教職員の負担軽減のため、現在紙により行っている給付申請について、マイナポータルと連携できる電子申請システムを導入し、オンライン化・ペーパーレス化を図ります。

〔35,643千円〕〔債務負担:47,000千円〕

<システムイメージ図> ※マイナンバーを持っている保護者の場合

